

第40回

“北方領土を考える”高校生弁論大会

第Ⅰ部

“北方領土を考える”高校生弁論発表

全道から応募し、事前審査を通過した14名の高校生が
“北方領土を考える”をテーマに高校生らしい弁論を発表します。

第Ⅱ部

元島民3世による講話

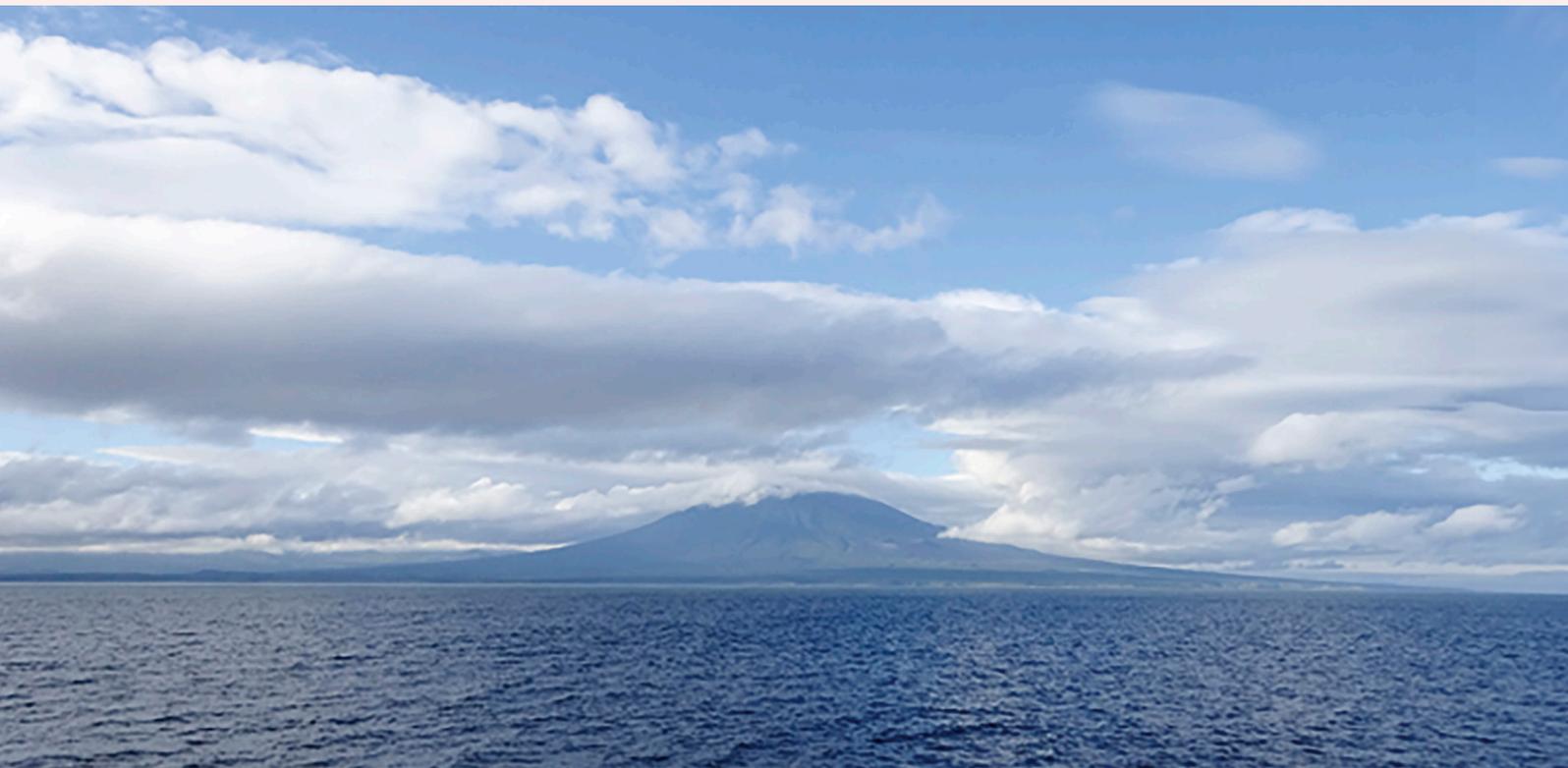
講師 久保 歩夢 氏

第Ⅲ部

審査講評・成績発表・表彰式

と き／令和8年1月17日(土)
12:30～16:30

ところ／札幌市男女共同参画センター ホール
(札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ3階)



くなしり ちやちやだけ
国後島 (爺爺岳)

明日を担う高校生の北方領土への想い、主張に耳をかたむけ、
皆さんも北方領土問題について考えましょう！

主 催／公益社団法人北方領土復帰期成同盟

後 援／外務省 内閣府北方対策本部

北海道 北海道教育委員会 札幌市 札幌市教育委員会

北海道高等学校長協会 北海道高等学校文化連盟

独立行政法人北方領土問題対策協会 公益社団法人千島歯舞諸島居住者連盟

開会式

(12:30開会)

第 I 部 弁論発表

主題 ～北方領土について考える～

- 審査員紹介
- 弁論発表 14校 14名（発表は一人7分以内）

第 II 部 元島民3世による講話

講師：久保 歩夢氏

※祖父が国後島出身。中学3年生の時にビザなし交流を経験。
映像制作事業「ViFight」代表。

第 III 部 表彰式

- 審査講評
- 成績発表
- 表彰
最優秀賞 1名 外務大臣賞
優秀賞 1名 北海道知事賞
優良賞 3名 北方領土復帰期成同盟会長賞

○最優秀賞及び優秀賞受賞者には副賞として「総理大臣表敬訪問」を実施します。

閉会

(16:30予定)

「第40回『北方領土を考える』
高校生弁論大会」に対する
外務大臣メッセージ



外務大臣
茂木 敏 充

「第40回“北方領土を考える”高校生弁論大会」の開催に当たり、北方領土問題に高い関心を持ち、本日の弁論大会に参加された高校生の皆様、そして、日頃から若い世代の方々に対する啓発活動に取り組んでいる皆様に対し、心から敬意を表し、また、感謝申し上げます。

北方領土問題は日露間最大の懸案事項です。政府として、戦後80年となる今もなお、この問題が解決されていないことを重く受け止めています。北方四島の帰属の問題を解決して平和条約を締結することが政府の基本方針です。ロシアによるウクライナ侵略を受け、日露関係は厳しい状況にあり、平和条約交渉についても具体的に見通せないところですが、交渉の早期再開に向けて取り組んでいく所存です。また、特に、すぐれて人道的な問題である北方墓参についても、高齢化する元島民の皆様の切実な思いを胸に、1日も早い再開に向け、ロシア側に粘り強く働きかけて参ります。

元島民の方々の平均年齢は90歳に達しました。このような状況において、国民一人一人、特に若い世代の皆様が北方領土問題に対する認識を深め、その解決の重要性を理解し、広く訴えることは、国民世論を盛り上げ、この問題の解決に向けて日本政府がロシアとの交渉を進めていく上で、力強い後押しとなります。北方領土問題の解決、そして平和条約の締結に向け、引き続き日本の将来を担う皆様から御声援を頂きますようお願いいたします。

結びに、本日御出場される皆様の御健闘と弁論大会の御成功を、心からお祈り申し上げます。

「第40回『北方領土を考える』
高校生弁論大会」に対する
知事メッセージ



北海道知事

鈴木直道

「第40回“北方領土を考える”高校生弁論大会」に、多くの皆様のご参加をいただき、心から感謝申し上げますとともに、公益社団法人北方領土復帰期成同盟をはじめ、本大会の開催に多大なるご尽力をいただいた皆様に厚くお礼申し上げます。

昨年8月、戦後80年を迎えました。北方領土問題は未だ解決せず、元島民の方々の平均年齢は90歳を超え、もはや一刻の猶予も許されません。

日露関係は依然として厳しく、元島民の皆様は、ふるさとへの墓参りさえ叶いません。こうした時こそ、政府の外交交渉を後押ししていくため、私たちは返還要求運動の歩みを進めていかなければなりません。

粘り強く返還要求運動を進めていくためには、若い世代の皆さんに北方領土問題に対する理解を深めていただき、運動に参加していただくことが大変重要です。このため、道では、「北方領土サポーター」制度やSNSを通じた情報発信、ICTを活用したイベントなどの取組を進めてきました。

北方領土問題について多くのことを学び、理解を深めてこられた皆さんの力強い訴えは、国民の関心を高め、世論の一層の喚起につながる大きな力となるものであり、大変頼もしく思います。

四島交流等事業の早期再開、そして、一日も早い北方領土の返還実現に向けて、世論が一層喚起されるよう皆さんの思いが全国の方々に広がっていくことを心から願っています。

「第40回 北方領土を考える」
高校生弁論大会」における
教育長の激励メッセージ



北海道教育委員会
教育長

中島 俊明

“北方領土を考える”高校生弁論大会が多くの高校生の参加の下、関係者皆様の御協力により開催されますことに、心から感謝申し上げます。

本大会は、昭和61年に始まり、今年で40年目を迎えますが、これまで、皆さんの先輩が素晴らしい発表を行い、北方領土の早期返還を強く願う元島民の方々をはじめとする地域の皆様、道民、そして国民の方々に、大きな勇気と希望を与えて参りました。

さて、海外に目を向けると、2022年2月、ロシアがウクライナへの軍事行動を開始したことに対し、我が国としては、国際社会と連携してロシアの侵略について強い非難を伝えるとともに、直ちに侵略をやめることを求めたり、ロシアに対して経済制裁を行ったりしていますが、依然として平和はもたらされていません。一方、国内においては、今日に至るまでソ連、ロシアによる北方領土の不法占拠が続いており、戦後80年を経たにも関わらず、ロシアとの間に未だに平和条約が締結されていません。また、ロシアは、今般の経済制裁に対し、日本と平和条約交渉を継続しないことや、四島交流及び自由訪問を中止することなどの声明を発表しています。

このような国際社会の混乱が続き、先行きが見通せない状況にあっても、皆さんのような若い方々が、本大会への参加を通して、領土問題を抱える日本とロシアの関係の在り方について深く考え、日本とロシア両国民の相互理解を深めつつ、返還運動の輪を一層広げ、領土問題を解決していこうとすることは、国際平和の維持と領土問題の平和的な解決のために、大変意義深いことであると考えております。

昨年の大会における生徒の弁論では、北方領土に対する無関心が身近にあることへの危機感や、北方領土問題の解決に向けて、交流の架け橋を復活させること、国民の北方領土問題への関心を高め、平和的な解決に向けた新しい解決策を模索することなど、北方領土問題の解決に向けた具体的な内容が数多く発表されました。

今回、皆さんは、北方領土に関する多くの資料を調べたり、様々な方々からお話を伺ったりするなどして、北方領土問題の歴史的背景や領土に関する国際法の意義などについて理解を深め、この問題がいかに身近であり、かつ、日本にとって大切な問題であるかに気付いたことと思います。

次代を担う皆さんの若さと熱意あふれる素晴らしい発表が、多くの人々の共感を得て、北方領土返還運動の輪がさらに広がり、一日も早く北方領土の返還が実現されることを心から願うとともに、皆さんがこれまでの努力の成果を存分に発揮されることを期待して、激励の言葉といたします。

第40回“北方領土を考える”高校生弁論大会

発表者名簿

(発表順)

基準 弁論	安達晴真	1年生	北海道別海高等学校
1	泉侑成	1年生	札幌日本大学高等学校
2	久保こころ	2年生	北海道根室高等学校
3	菊地優希	1年生	北海道鹿追高等学校
4	河森絢音	2年生	旭川藤星高等学校
5	小丹枝良紀	1年生	市立札幌旭丘高等学校
6	吉川和希	1年生	北海道礼文高等学校
7	三浦かな	2年生	北海道札幌国際情報高等学校
8	川村南実	1年生	北海道浦河高等学校
9	加藤由姫	1年生	北海道別海高等学校
10	高橋孝明	3年生	北海道札幌西高等学校
11	山田隆太	2年生	北海学園札幌高等学校
12	桃井優衣	2年生	武修館高等学校
13	三浦大輝	1年生	北海道石狩翔陽高等学校
14	出口皓貴	2年生	北海道幕別清陵高等学校

第40回“北方領土を考える”高校生弁論大会

審査員名簿

(五十音順)

- 井 潤 裕 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター
共同研究員
- 吉 良 哲 子 北海道女性団体連絡協議会 副会長
- 柴 田 亨 北海道教育庁 教育指導監
- 須 田 光 政 北海道総務部北方領土対策本部 北方領土対策局長
- 竹 越 広 志 北海道高等学校文化連盟 弁論専門部長
(北海学園札幌高等学校長)
- 西 依 一 憲 北海道新聞社編集局報道センター 副センター長
- 森 本 祐 基 外務省欧州局ロシア課 課長補佐

毎年2月7日は『北方領土の日』です



北方領土問題に対する国民の関心と理解をさらに深めるために、政府は昭和56年1月6日閣議了解により、毎年2月7日を「北方領土の日」とすることを決めました。

2月7日は、安政元年（1855年）伊豆下田において日魯通好条約が調印された日で、平和的な話し合いによって、両国の国境を択捉島とウルップ島との間に定められました。

この歴史的な意義から「北方領土の日」として最もふさわしい日とされたのです。

『北方領土の日』前後には、国民世論を盛り上げる各種の行事が全国各地において開催されています。ぜひ、ご参加・ご支援をお願いします。

北方領土返還要求署名活動

令和8年2月4日（水）～令和8年2月11日（水）
2026さっぽろ雪まつり（第76回）大通会場6丁目

2026北方領土フェスティバル

令和8年2月7日（土）12時～13時
2026さっぽろ雪まつり（第76回）大通会場5丁目
（道新 雪の広場）